（様式２別紙）

（団体名）一般社団法人ReRoots
（事業名）若林区の地域おこしに向けた農業と農村コミュニティ再生事業　ロジック・モデル

インプット

〇ReRootsの学生スタッフ
80名

〇町内会や行政、農家、住民との震災以降継続した協力関係

〇資金310万円

活動

①ReRootsファーム
…学生スタッフが地域の遊休地で農業に従事。
　新規就農者への労働力不足支援

②三本塚市民農園
…市民農園の運営・生育管理と年4回の企画。

③食と農を通じた農村グリーンツーリズム（おいもプロジェクト）
…年4回行うさつまいもの生育・販売体験企画。

アウトプット

①ReRootsファーム
・大学生が農業に対する関心をもつ。
・農業後継者を輩出する。
・労働力不足に悩む農家への助けとなる。
・農家から若者への期待が生まれる。

②三本塚市民農園
・若林区にに定期的な人の往来が生まれる。
・地域外の利用者と被災住民の交流が生まれる。
・独居高齢者の地主さんの見守り活動。

③おいもプロジェクト
・参加者が地域のファンとなり、交流人口が拡大する。年間140名の参加。
・4名の住民自身が地域の魅力を再発見し、自信を持って発信に臨める。
・生産したさつまいもの加工、販売として食育、農業体験、販売体験という教育が行える。

アウトカム

初期

〇ReRoots農業法人部門の設立により若手の就農実現
〇人の往来が定着し、継続した交流人口の拡大
〇地域資源を生かしてグリーンツーリズムが定着
〇住民自身が、地域の魅力を発信し、中心となる人たちが主体的に地域づくりに携わり始める。
〇加工・販売を通じた新たな地域資源の開発

中期

〇学生や若者から新規就農を目指す人が、研修を受け始め、地元農家の研修受け入れの事業（農村塾）が実施され、後継者不足という課題解決の条件が生まれる
〇新規就農者が移住できるように空き家対策を住民とともに検討が始まる。
〇住民が地域の魅力を率先して発信し、グリーンツーリズムを通じてやりがい・生きがいが生まれる。
〇住民自身がリーダーだけでなく地域として課題解決とまちづくりに向かう。

長期

〇農業後継者不足の解決が実現し、農業が持続できる。
〇新規就農者が移住し、過疎化に対してひなびた農村として持続できる。
〇グリーンツーリズムをもって食育・農業体験・文化体験を住民とともに行い、教育的な取り組みのモデルケースとなる。
〇農業やグリーンツーリズムなどの事業化により、雇用が生まれる。
〇過疎地や農業の課題を抱える地区において学生と住民の共同による地域作りのモデルとなる。
〇学生が継続して農村の活性化にとりくむ文化が生まれる。